

廿八編上 眞

畫

化形

什題曲

琴

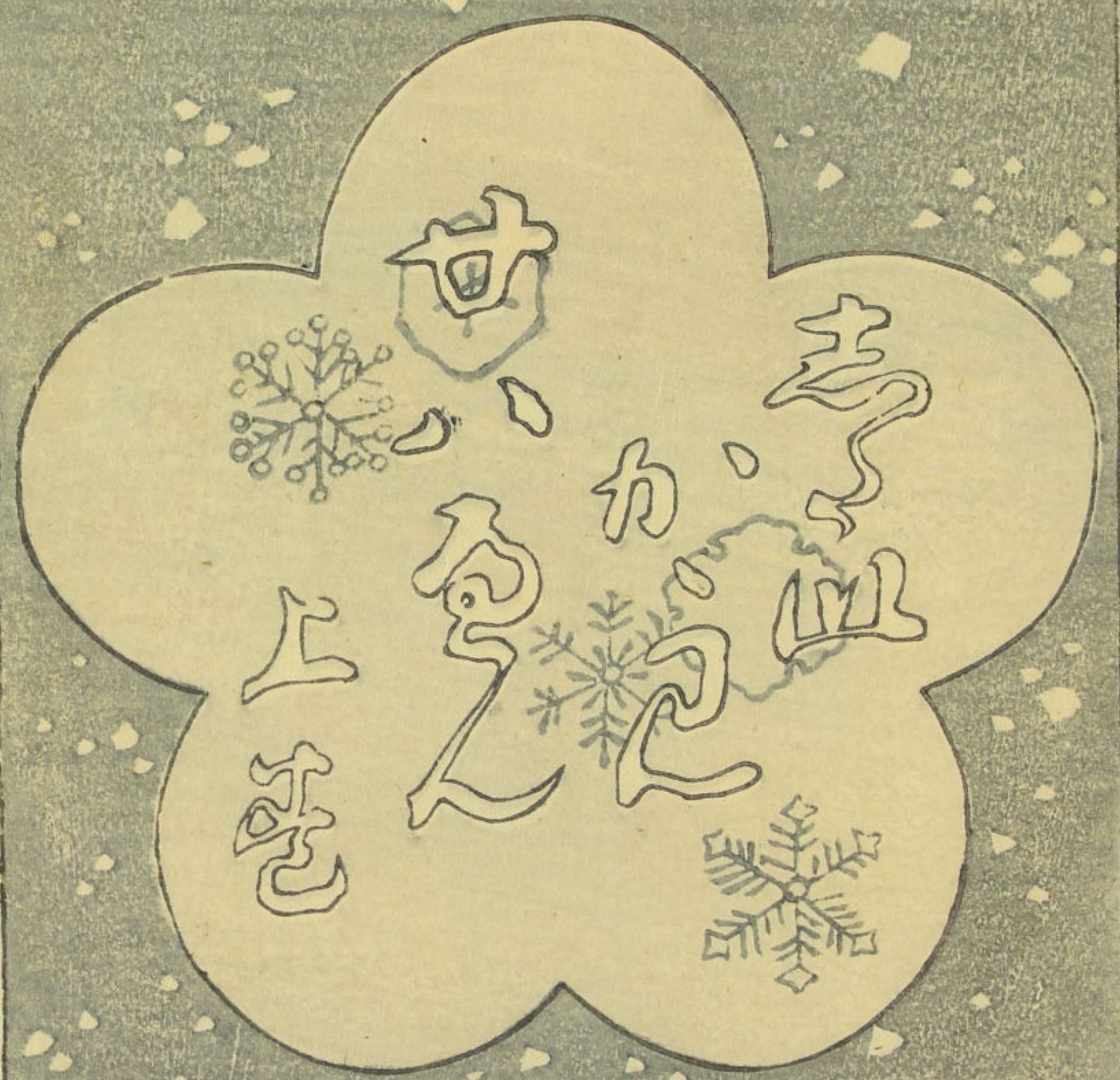
梅

~ 13
3740
55

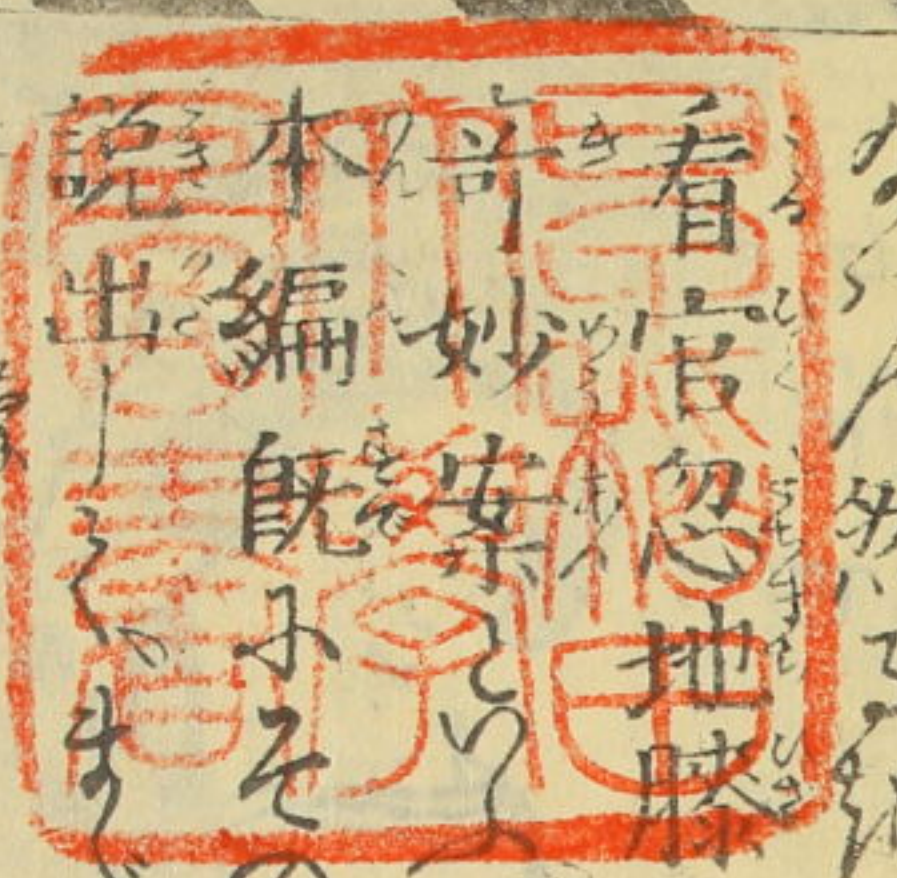


門 13
3740
55

永春水 為永
作春水
歌川
國貞
畫



文久 癸亥 刻
若林 堂 新 販



稗史の巧あるゆゑと大槩十小七八まで首巻小巧
措る條の後冊ふい〜介あ〜と見功者ある〜推
か〜然る深〜慮り東西〜意表不出〜
看官忽地膝を敲き其處小驚嘆る〜む〜
奇妙案の〜開〜予が如き拙作の企及ぶ所ふあら〜と
本編既小その場ふ〜〜那岳ヶ嶽兄弟が身の上〜も
出〜具あるふ至〜紙員尺〜筆と閣々
這何〜結ぶあ〜と作者が肺腑と戯〜探〜
是も又夜長の伽のひ〜ふ〜

癸亥早春

為永春水記

寺二八



白山雪若友
しらやまのゆきわかととも

守
二
八



老女花江
らにょはなえ

公達狗喜代丸
こうたついぬきよしろ
梅園前の
腹小生
うぶこせい

肝
二
八



老女笹尾

公達愛之助
新根方の腹小生

寺代十



湯屋安波太郎

敦連

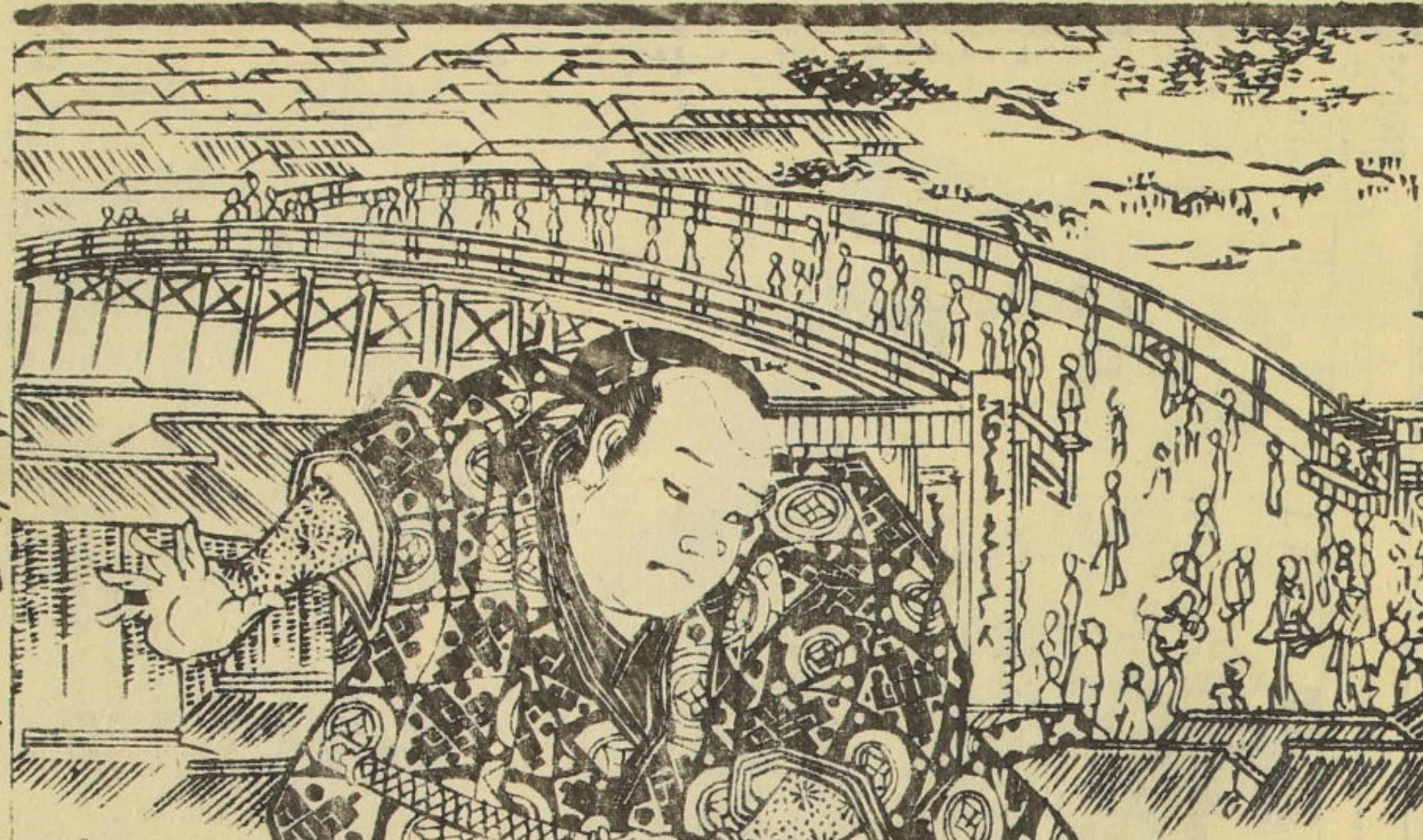
甲什十八





時分廿八

七

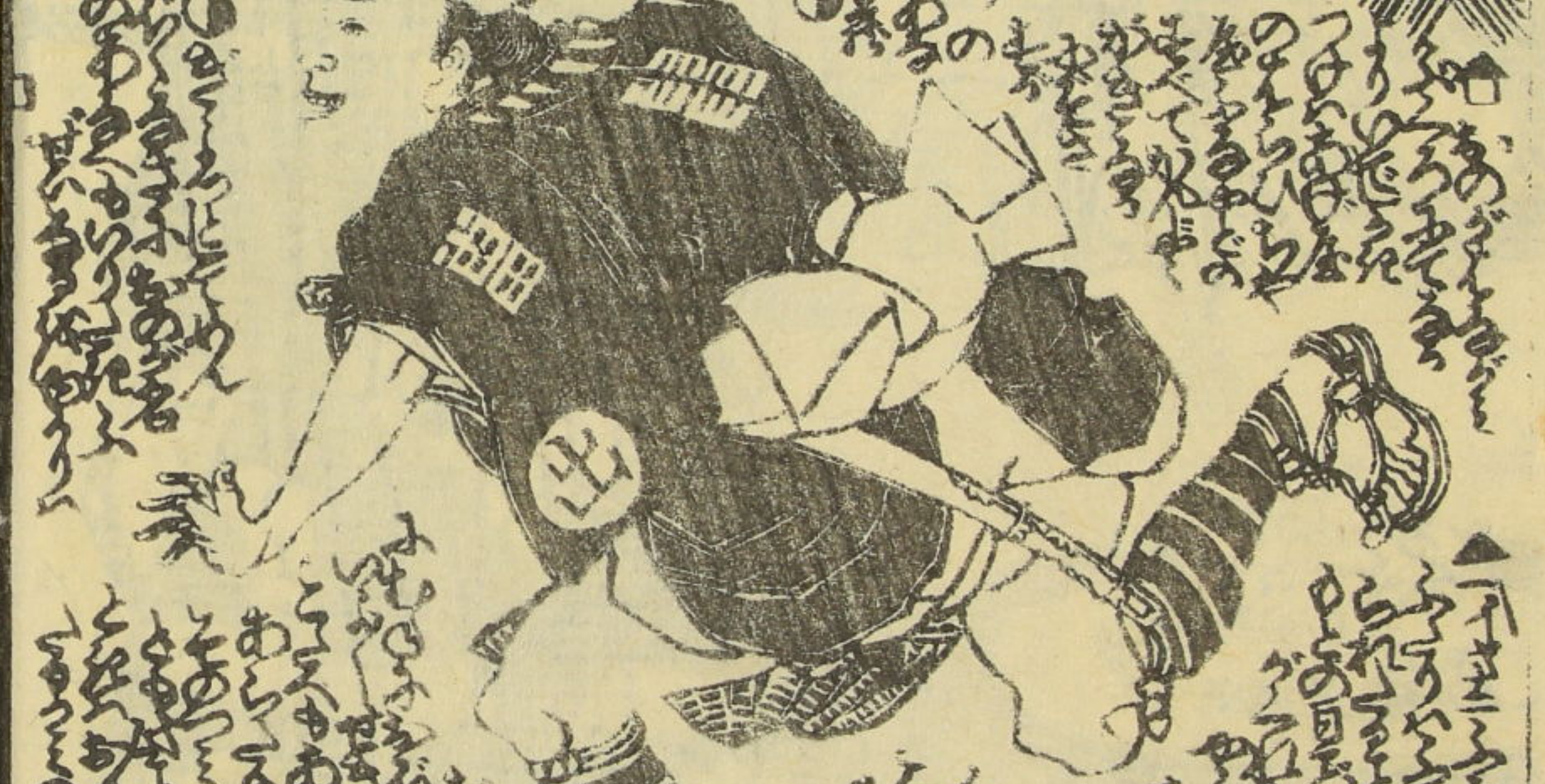
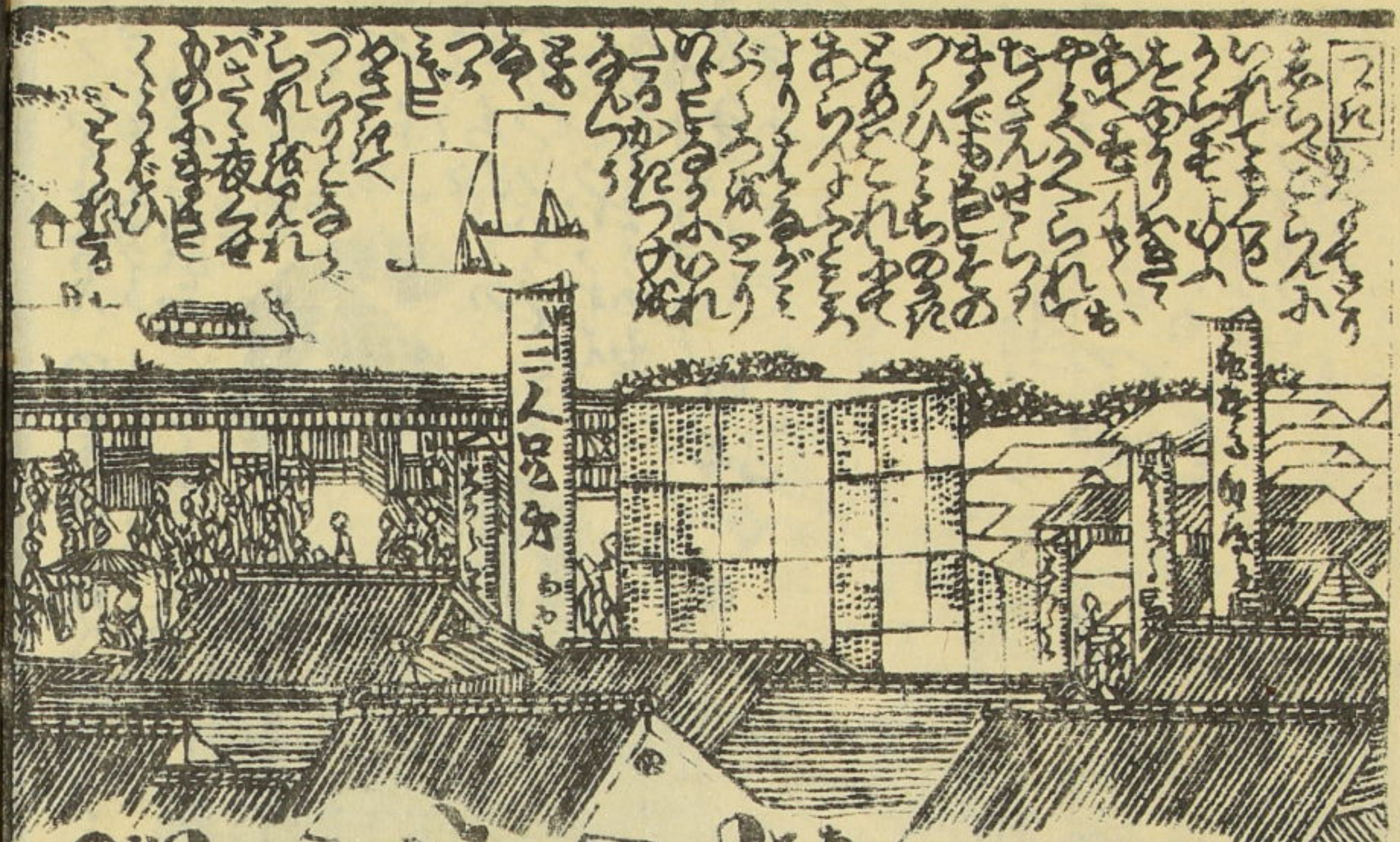


寺
七
十

中
 左
 右
 下

此の人物は、
 江戸の町に
 居る者なり。
 其の服装は、
 非常に豪華
 なり。其の
 所持する物
 亦多し。其
 の行動も亦
 自由なり。

此の人物は、
 江戸の町に
 居る者なり。
 其の服装は、
 非常に豪華
 なり。其の
 所持する物
 亦多し。其
 の行動も亦
 自由なり。



此の人物は、
 江戸の町に
 居る者なり。
 其の服装は、
 非常に豪華
 なり。其の
 所持する物
 亦多し。其
 の行動も亦
 自由なり。



玉貞画
喜あ化

風流画半切

越前奉書紙
伊豫奉書紙

○縮紙
○えむし
○半切

任齋百圖全

洞郁画

上 斎場久月

昔の物語は多岐
けり入るるも

忠臣義士銘々傳

一編 齋芳虎重

古くありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐
ありし物語は多岐

目録包
中封の入れのり
二十冊
口重なるも

當年
新板
喜あ化

東のき絵
子代紙のり
神事玉の進物
はねのり
若林堂藏

若林堂藏

